

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和3 年度)

施策コード	432	施策名	商工業の振興
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	43	産業によってにぎわいや活気を生み出すまち	
担当部	市民環境部	担当課	産業振興課

2. 施策の方向

10年後の姿	商工業者による自主的な経営改革が進められ、魅力ある事業や商店街創出のための努力が発揮されており、まち全体に活気が満ちています。		
施策の方向性	1	商店街の振興・活性化を図ります	
	2	まちに活気をもたらす新しい産業を育成します	
	3	商工業者の安定した経営を支援します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
起業支援事業	1、2	男女共同参画センター	9,288
子育てクーポン事業	1	子ども家庭支援センター	22,044
健康ポイント事業	1	健康推進課	16,365
商工会等育成事業	1、2、3	産業振興課	287,860
融資事業	1	産業振興課	3,217
総事業費(施策の合計)			338,774

4. まちづくり指標

指標情報						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度
①	名称	商店街事業来場者数			目標値	90,000	30,000	63,700	81,900	91,000
	説明	商店街のイベント事業実施における来場者	単位	人	実績値	15,500	6,800(※1)			
	抽出方法	所管課統計			達成率	17.2%	22.7%			
②	名称	日常の買い物は市内の商店街を利用している人の割合			目標値	48.2	48.2	48.2	48.7	48.9
	説明	—	単位	%	実績値	48.1	48.1(※2)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)			達成率	99.8%	99.8%			

※1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減と推測される。

※2 ②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<p>●依然続くコロナ禍の影響により先の見えない経済状況のなか、商工会との連携により売り上げ減少に苦しむ事業者を対象とした給付金事業を実施した。</p> <p>●ニンニスクラッチ事業やキャッシュレス決済ポイント還元事業のほか、がんばるお店応援キャンペーンなどを行うことにより、市内の消費喚起を促し商工業事業者への支援を実施した。</p> <p>●国や都が実施している各種支援事業などに対する相談や売上減少に苦しむ市内農商工業者に対する相談の窓口を専門の相談委員を配置して開設し、相談を受けた。</p>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの変更点	コロナ禍による影響に加えて、原材料等が高騰しており、経営を圧迫している。
-------------	--------------------------------------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	コロナ禍による影響だけでなく、世界情勢などの影響も注視する必要がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	国や東京都の事業を活用して変化する状況に対応した事業実施に取り組む必要がある。
②	施策を進める上での課題	厳しい社会情勢のなか事業者への安定的な資金調達に向けて事業融資のあっせんの充実を図る必要がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	融資事業の拡充を検討する。
③	施策を進める上での課題	コロナ禍における事業者支援に取り組む必要がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	商店街の街区維持及び事業所の継続や継承に繋がる支援を検討する。